

※A（目的関係欄）とB（手段関係欄）に理論的矛盾はないか

取組名		各圏域の重点的取組名を記載（圏域別計画より）	目指すべき姿： 圏域別計画より転記
背景となる現況・課題		各圏域の地域包括ケア計画に記載した「ニーズ調査や地域ケア会議出席者の意見等に基づく現況・課題」をベースに、8期の取組内容やその課題を加味して記載（9期計画の取組を行うに当たって背景となった現況・課題）	
計画策定段階の前年度の事業実績		令和7年度計画作成段階（令和7年1月時点）における、令和6年度の当該取組の実績及び課題を記載（毎年度）	
第9期計画における目的		各圏域の重点的取組における「目的」を記載（圏域別計画より）	
令和7年度の取組の指標と方向性	目標 (①)	「第9期計画における目的」を達成するために設定した当該年度の目標を記載 ※目標＝到達見込み点。目標設定の背景や設定理由は記載しなくて良い。	
	投入資源 (②)	活動（③）を行うために使う資源（人材・もの・経費）を記載 ※鉛筆、コピー用紙等の必要物品の詳細や小物までは記載不要	
	活動計画 (③)	当該年度の目標（①）を達成するための活動計画（取組・手段＝何をするか）を記載	
	アウトプット指標 (④)	当該活動（③）を実施したことにより、どのような結果が出たのかを評価するための指標。事業の活動量を測る指標。⇒例：事業の参加人数、実施回数等 ※計画1つにつき、最大3つまでにまとめてください	
	アウトカム指標 (⑤)	当該活動（③）を実施したことにより、どのような成果が出たのかを評価するための指標。事業の実施により対象にもたらした意識や行動の変化等を測る指標。（なるべく客観的な評価方法や測定方法を設定）⇒例：参加者アンケート結果（参加者の意識の向上や理解度、行動の変化等）、新たな連携事例、新規立ち上げ数等 ※計画1つにつき、最大3つまでにまとめてください	
実施結果	活動の実績（アウトプット）	当該活動（③）を実施したことにより、どのような結果が出たのかについて④の指標に基づいて記載（直接的な結果＝実施結果）	
	成果（アウトカム指標を用いた目標の達成状況）	当該活動（③）を実施したことにより、どのような成果が出たのかについて⑤の指標に基づいた評価を記載。③の実施により、対象にどのような意識や行動の変化等があったのか（対象に及ぼした良い影響や効果）について、統計データや測定数値、アンケート調査等の数値及び事例をセットで記載する。	
備考		当該活動（③）実施に当たり、意識した点や担当者の所感等必要に応じて記載。（特にない場合は記載不要）※主観的感想も可	